



神戸市室内管弦楽団
第157回定期演奏会

北歐からドイツへ。
自然美めぐる音楽の旅

田園をゆく、春

Yuko Yamamoto

[ソプラノ]
久元祐子

日本で希少な
ベーゼンドルファー
アーティスト



鈴木秀美
[指揮]

Hidemichi Suzuki

ディーリアス: 小管弦楽のための2つの小品
「春初めてのカッコウの声を聞いて」「川面の夏の夜」

Debussy - 2 Pieces for Small Orchestra

グリーグ: ピアノ協奏曲 イ短調 作品16 (グリーグ生誕180年)

Grieg - Piano Concerto in A Minor, Op. 16

使用楽器: ベーゼンドルファー 280VC

ベートーヴェン: 交響曲 第6番「田園」へ長調 作品68

Beethoven - Symphonie, Nr. 6 F-Dur Op. 68 "Pastorale"

© K. Wura

2023 4.22 (土) 15:00 開演 (14:15 開場)

神戸文化ホール 大ホール

[全席指定] S席 4,000円 A席 2,000円 U25 (25歳以下) 1,000円 (税込)

*U25チケットのお客は、入場時に年齢が確認できる証明書の提示が必要です。
*チケットを第三者に譲渡する場合があります。*販売終了のチケットのご入場はご遠慮ください。

チケット
販売場所

- 神戸文化ホールプレイガイド 078-351-3349 (10:00~17:00 月曜休館・6月5日・7月5日)
- 神戸文化ホールオンラインチケット <https://www.kobe-bunka.jp/hall/>
- ローソンチケット (Lコード: 56490) <https://l-tike.com/>
- チケットぴあ (Pコード: 233-698) <https://l.pia.jp/>
- 神戸国際会館プレイガイド 078-230-3300 (10:00~18:00 火曜休館)



発売日

神戸文化ホール
友の会・若狭会館先行 1/6 一般発売 1/13

田園をゆく、春

2023年度最初のコンサートは、「音楽の中の自然」をお楽しみいただきたいと考えたプログラムです。独特な作風のディーリアスはあまり知られていませんがドビュッシーと同年のイギリス人、グリーグとも親交があった作曲家です。そのグリーグのピアノ協奏曲は言うまでもない有名曲ですが、どこか北欧の自然を感じさせるような雰囲気を持っています。久元祐子さんと私は初共演ですが、ピアノの歴史にも詳しい彼女から紡ぎ出されるであろう音色の世界を大いに楽しみにしています。そして後半は、ベートーヴェン作品の中で最も自然描写に近い「田園」交響曲をお楽しみいただきましょう。皆様の豊かな想像力の助けも得て、大倉山から世界の山々へと心の中の情景が拡がる時間となりますことを願っております。

鈴木秀美

[指揮]
鈴木秀美

Hidemi Suzuki

神戸生まれ。チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、後述の指導と活動は多岐にわたります。サントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。主要な音楽団体にメンバーや首席奏者を務めた。2001年「オーケストラ・リベラ・クラシカ」を創設し、自身のレーベル「アルテ・デラルコ」からその録音や室内楽等をリリース中。国内外のオーケストラに指揮者及びソリストとして客演。著書に「『音楽器』よ、さらば!」「音楽之友社」。「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」(東京書籍)。「演奏低音弾きの言葉は、」(アルテス・パブリッシング)などがある。現在は山形交響楽団首席客演指揮者、東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学音楽科講師を務めている。楽道会弦楽四重奏団メンバー。また、神戸市室内管弦楽団(設立当時は神戸室内合奏団)の創立メンバー(副指揮者・首席奏者)でもある。2021年4月より神戸市室内管弦楽団音楽監督に就任。



© K. Muro

[ピアノ]
久元祐子

Yuko Hisamoto

東京藝大を経て同大学院修了。ウィーン放送響、ラトビア国立響、法響、神奈川フィル、新日本フィル、東フィル、日本フィル、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラと多数共演。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。ブロードウッド(1810年頃製)、ペーゼンドルフアー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いたの演奏会や録音にも数多く取り組む。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。2016-22年にかけてモーツァルト・ソナタ全曲演奏会(全6回)を開催。「優渾なるモーツァルト」(レコード芸術特選盤、毎日新聞CD特選盤)などCD16作をリリース。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)他多数。国立音楽大学・大学院教授。日本人で最少ないペーゼンドルフアー・アーティストの称号を受ける。[久元祐子ウェブサイト] <http://www.yuko-hisamoto.jp/>



© 記録堂



[コンサートマスター]

高木和弘

[ヴァイオリン]

西尾恵子 森岡 聡 井上隆平

黒江郁子 幸田聡子 谷口朋子

中山裕子 二橋洋子 萩原合敬

前川友紀 他

[ヴィオラ]

亀井宏子 中島悦子 横井和美 他

[チェロ]

伝田正則 田中次郎 山本彩子 他

[コントラバス]

長谷川順子 他

[フルート]

清水信貴 他

[オーボエ]

岡山理絵 他

[クラリネット]

上田 希 他

[ファゴット]

赤土仁菜 他

[ホルン]

根本めぐみ

青木宏明 他 ※2022年12月現在の情報です。

神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

1981年、神戸市により「神戸室内合奏団」として設立。実力派の弦楽器奏者たちによって組織され、弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発に行う。これまでにゲルハルト・ボッセや岡山謙など音楽界の巨匠を音楽監督に迎え、国内外の第一線で活躍する指揮者・ソリストとの共演を重ねてきた。2018年より管楽器奏者が加入したことを機に、「神戸市室内管弦楽団」と改名。2021年には世界的なチェリストであり指揮者の鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求を続けている。定期演奏会以外にも、地域へのクラシック音楽普及や、音楽を通して地域の抱える課題に取り組むなど、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。神戸文化ホールの特約団体。



© SHIMOKOSHI HARUKO

[2023年度定期会員] 新規入会募集! 2023年1月6日(金)より募集開始!

リハーサル見学などの嬉しい特典付き! 神戸から発信する選りすぐりの演奏会をお得に楽しみませんか?

神戸プレミアム 25,000円(全8公演)

- 神戸市室内管弦楽団定期演奏会 5公演(第157回・第158回・第159回・第160回・第161回)
- 神戸市混声合唱団定期演奏会 2公演(秋の定期演奏会・春の定期演奏会)
- 合同定期演奏会 1公演

神戸市室内管弦楽団 19,000円(全6公演)

- 神戸市室内管弦楽団定期演奏会 5公演 ●合同定期演奏会 1公演

[申込期間] ※5歳以上の販売。
神戸プレミアム会員・神戸市室内管弦楽団会員
2023年1月6日(金)～4月21日(金)

[申込先] 神戸文化ホールプレイガイド

078-351-3349

営業時間:10:00～17:00

月曜休み ※窓口の場合は平日

2023年度プログラムはこちら



[U25チケット]

たいへんお得なU25チケット

25歳以下(小学生以上)のお客様は1,000円で観覧できます。

※入場時に年齢が確認できる証明書の提示が必要。

[神戸のびのびシート]

神戸市在住の小中学生を神戸市室内管弦楽団のコンサートに無料招待! 当団公式サイト「神戸のびのびシート」専用ページからご応募ください。



facebook Twitter Instagram Youtube



新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し公演を実施します。ご来場前に必ず、ウェブサイトの「ご来場の皆様へ」をご確認ください。 感染対策のお願い ▶



神戸文化ホール

〒650-0017 神戸市中央区港町4丁目2-2

- 神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」徒歩1分(新神戸駅より約7分)
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
- JR「神戸駅」徒歩10分(大塚駅より新快速で30分)
- 神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分